

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 宇治田原町

プロジェクト名	福祉・健康長寿プロジェクト		実施期間	平成26年度～	テーマ	福祉・健康長寿プロジェクト（町重点施策）	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町では、山々に囲まれた地理的特性から豊かな自然環境に恵まれているが、鉄軌道や高等学校の施設が町内になく、学生を含めた若者世代や現役世代の町外への転出が発生しており、若者世代等の町外への転出は、地域の活力を減退させる原因にもなっている。</p> <p>地域を活性化させていくためには、子ども（子育て世代）から高齢者までの全ての世代の人々や障がい者の方が、住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、地域全体で支えあう福祉のまちづくりの環境整備が必要とされている。一方、交通福祉対策として、鉄軌道がない本町においては、近隣市町への交通手段は、バス若しくは自家用車等に限定される。しかし、近年、自家用車の普及等により公共交通（バス）の利用者が減少し、町内一部地域においては、路線自体が廃止され、交通手段が自家用車以外にない地域が存在している。</p> <p>また、少子高齢化が進むことが予測され、医療費等に係る扶助費が年々増加する中、健康寿命の延伸を妨げる各種疾患の罹患を防ぎ、健康な状態で生活を送るための支援策が必要とされている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>住民の方々が、様々な年代において、直面している課題を克服しながら、安心して暮らしていくことができるように、子育て支援をはじめ高齢者福祉、障がい者福祉を充実させるため、各種事業を実施する。また、住民の足の確保充実のため福祉バスを運行することで、交通弱者をはじめとする住民生活を守る。</p> <p>住民が健やかな生活を続けるために、生活習慣を振り返るきっかけづくりの場を提供し、「自分の健康は自分で守る」という意識改革に取り組むとともに、各種予防接種を実施し、疾患の罹患を防ぐ。また 宇治田原町において生活をする高齢者の方が、生き甲斐をもって生活が送れるように、自らの経験や知恵を生かして働ける場所を提供するシルバー人材センターを設置し、運営補助を実施することにより経営の安定化を図る。</p>							
	総事業費（千円）	22,582	本年度事業費（千円）	22,582	交付金額（千円）	7,093		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	福祉バス運行事業	交付対象事業	高齢者及び障がい者等の日常的な交通手段を確保するため、福祉バスを運行し、住民福祉の向上を図る。			利用者数：14,253人（昨年度より1,623人増）		
	障がい者のための交通支援事業	交付対象事業	タクシー料金及び自家用車ガソリン代、各種施設への通所交通費の一部を助成することにより、障がい者世帯の経済的負担を軽減し、障がい者の生活行動範囲の拡大、社会参加の促進を図る。			○福祉タクシー利用券助成 ・145名に対して162冊を交付 ○障がい者施設通所交通費助成 公共交通機関を利用して施設に通所する方々に対し、交通費の2分の1を助成し、利用者の経済的負担の軽減を図った。 ・上半期分 9人 332,810円 ・下半期分 9人 311,290円		
	療育教室運営事業	交付対象事業	身体の障がい、精神発達遅滞障がいの幼児を早期発見し、適切な指導のもと、心身障がいの進行を未然に防止する。			臨床心理士、保育士、保健師による集団指導を行った。 【26年度療育教室利用者数】 実人数（延べ人数） 4人（110人）		
	保育所安心安全対策事業	交付対象事業	保育所内の安心安全対策向上を図るため、安全巡視員の配置や門扉への液晶モニター付インターホン及び電気錠を設置することにより、外部からの不審者侵入に対して防止強化を図る。			・保育所安全巡視員の配置 ・液晶モニター付インターホン及び電気錠の設置 ・ネックストラップ型保護者カードの配布		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 宇治田原町

	ファミリーサポート事業	関連事業	住民ボランティアとの協働で、「育児を手伝いたい方と、手助けをしてほしい方」を募り、子育て支援環境の充実を図る。	事業利用実績 10件 子育ての手伝いを通して、地域の方同士の交流をもつことができ、地域で子育てを支援する体制づくりを進めた。	
住民協働事業	食の自立支援事業	関連事業	食事の作成ボランティア等との協働により、高齢者及び身体障がい者に昼食・夕食の配食サービスを実施する。	栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認を併せて行い、高齢者の健康と生活の質を確保し、介護予防を図ることができた。	
住民が取り組む事業	シルバー人材センター運営補助事業	交付対象事業	高齢者が長年培ってきた経験と技術を生かし、社会貢献をしていただくため就労機会の斡旋を目的に設立されたシルバー人材センターへの運営補助を行う。	センターの運営に必要な経費から配分金事務手数料相当額及び会員会費収入を控除した金額を、運営補助金として町から支出。 〈平成26年度のセンターの業務状況〉 ・行政関係 受託件数 222件 受託金額17,330,273円 ・民間企業 受託件数 271件 受託金額15,294,321円 ・一般家庭 受託件数 133件 受託金額 2,941,302円 計 受託件数 626件 受託金額35,565,896円 会員数119人、就業日数7,315人・日	
成果指標①	成果指標の目標数値	福祉バス運行事業： 福祉バス利用者数 目標 12,630人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	福祉バス利用者数 14,253人 (平成27年3月31日時点)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	利用者数は、目標値（昨年度）より1,623名(+12.9%)の増となり、目標数値を上回った。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	障がい者のための交通支援事業： 福祉タクシー利用券交付者数 目標 152人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	福祉タクシー利用券交付者数 145人 (平成27年3月31日時点)
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	交付者数は、目標値（昨年度）より7名(▲4.6%)の微減となったが、事業を通して障がい者福祉の充実を図ることができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	経済的支援やサービスの提供等、様々な面からの活動により、宇治田原町の福祉・健康長寿の向上につながっている。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 宇治田原町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	育児におけるマッチング事業や子育て支援の場の設置により、地域で子育てを支援する体制を構築することができた。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	ボランティアの協力により、経費を抑えながら子育ての支援を図ることができた。
	その他の成果	障がい者が継続して仕事に従事することで、自立した生活を送ることが期待でき、また仕事内容の充実のために地域団体等の支援を得ていくことで、地域活動の活性化に繋がっている。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。